

令和 7 年度 教育行政点検評価 第 1 次評価 (総括シート)

南相馬市教育委員会

第三次教育振興基本計画の点検及び評価

【参考】重要目標達成指標（K G I）について

K G I (重要目標達成指標)	現状値 (令和 5 年)	目標値 (令和 9 年)	①指標の設定理由 ②目標値の考え方
全国学力学習状況調査（小 6、中 3）における標準化得点	小 6 99 中 3 97	小 6 103 中 3 101	①児童生徒の教育水準の向上が図られているかを評価するため。 ②小 6、中 3 ともに全国トップレベルを目標として設定。 調査における全国平均100、全国トップレベル103。 【全国学力・学習状況調査 標準化得点】
学習適応性検査の偏差値	小 5 53.6 中 2 56.1	小 5 55.0 中 2 58.0	①魅力ある教育環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②現状値は全国平均（50）を上回っているが、更なる向上を目指し、小 5 は55.0、中 2 は58.0（現状値からそれぞれ 3 ポイント程度の向上）を目標値に設定。 【AAI検査(学習適応性検査)の標準得点（偏差値）】
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合	32.9%	42.2%	①生涯にわたって学ぶことができる環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②過去 3 年間の平均値に係る直近年度の伸び率年 2 %の増加を目標として設定。

市第三次総合計画と連動する教育分野の最上位計画であることから、K G I については市第三次総合計画と同一の指標を目指す。
各教育施策の成果指標となる K P I については市第三次総合計画に掲げた指標のほか、新たに指標を追加。

第三次教育振興基本計画の点検及び評価

重要目標達成指標（K G I）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KGI達成状況の要因
全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点	小6 99	小6 99	小6 100	小6 99	未達成	下降等	99.0%	100.0%	小6 101	小6 98	未達成	下降等	97.0%	99.0%	小6 102	小6 103	学校教育課	目標値を下回っているが、全国平均を大きく上回る学校や教科によっては全国正答率を上回る学校もあった。課題としては、特に算数の正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがある。今後も調査分析の結果から授業改善に取り組めるようにしていく。
	中3 99	中3 99	中3 100	中3 97	未達成	下降等	97.0%	98.0%	中3 100	中3 97	未達成	下降等	97.0%	100.0%	中3 100	中3 101	学校教育課	目標値を下回っている。特に数学に課題があり、正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがある。今後も調査分析の結果を踏まえ学校訪問を中心に授業改善に取り組めるようにしていく。
学習適応性検査の偏差値	小5 52.4	小5 52.4	小5 53.0	小5 53.6	達成	上昇等	101.1%	102.3%	小5 53.7	小5 51.7	未達成	下降等	96.3%	96.5%	小5 54.4	小5 55.0	学校教育課	昨年より偏差値は下がっているが、全国平均は上回っている。教育環境づくりにより子どもたちは学校が居心地のよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
	中2 55.4	中2 55.4	中2 56.0	中2 56.1	達成	上昇等	100.2%	101.3%	中2 56.7	中2 55.4	未達成	下降等	97.7%	98.8%	中2 57.4	中2 58.0	学校教育課	年々、偏差値は下がってきている。全国平均よりは偏差値が上回っていることから教育環境づくりにより子どもたちは学校が居心地のよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	38.2%	39.2%	32.9%	未達成	下降等	83.9%	86.1%	40.2%	50.0%	達成	上昇等	124.4%	152.0%	41.2%	42.2%	生涯学習課	市民のニーズの把握に努めながら、生涯学習各種事業を進めたことが要因と捉えている。しかし、満足・やや満足の回答割合について、小中学校保護者は6割に対し、一般は2割台で大きな開きがあり、よって、若い世代から高齢者まで幅広い年齢層に対応した各種学習メニューの提供や、ライフスタイルに合わせて学べる生涯学習の環境整備は、引き続き重要な課題である。

令和6年度KGI達成状況の要因分析・令和8年度に向けた課題（総括）

「全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点（KGI）」については、前年に比較し小学校で1ポイント下がり、中学校では前年に比し、同じポイントとなっているが、共に目標値を下回っている。基礎的・基本的な内容の定着と授業で学んだ内容の活用が図れるよう、市内全校で取り組んでいる「南相馬市の授業スタイル」を基本に教員の指導力向上、家庭学習の定着と質的・量的な向上に取り組む必要がある。特に、算数・数学については、基礎・基本の定着に加え、学んだことを活用して解くような発展的な課題にも取り組ませられるよう、授業のまとめやふりかえりについての工夫が必要である。

一方で、「学習適応性検査の偏差値（KGI）」については、全国平均は上回っているものの目標値は下回っている。施策②「教育水準の向上」の取組に関しては、令和7年度から開始する国際バカロレアの研究開発校における試行授業を通して双方向・協働型の探究型学習を研究し、その成果を令和8年度以降に他校に展開することにより、市全体で児童生徒の学習意欲の向上を目指していく。あわせて、施策③「教育環境の整備」等の取組については、小中学校とも目標を達成しており、引き続き児童生徒の学習意欲の育成、学力向上につながる教育環境づくりに努めていく。

また、「生涯学習の機会に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合（KGI）」については、目標を上回った。これは、市民ニーズの把握に努めながら、生涯学習各種事業を進めたことがその要因と捉えているものの、世代間で生涯学習に対する意識に差があることは否めない。よって、SNSを活用し、特に、若い世代が興味を引く情報発信と若い世代の交流につながるメニューづくりなどが必要である。

重要業績評価指標（K P I）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
新体力テストの結果について、上位2段階(A、B)評価の児童生徒の割合	小5 40.9%	小5 35.8%	小5 41.7%	小5 30.3%	未達成	下降等	72.7%	84.6%	小5 42.5%	小5 32.9%	未達成	上昇等	77.4%	108.6%	小5 43.3%	小5 44.0%	学校 教育課	目標値は下回ったが、昨年度より実績値が上昇している。女子は全国平均とほぼ同じ値となっているが、男子は、全国、県よりもやや低い。上位層が少なく、最下位層（D評価）の割合が20%を超えている。	有効である	現状の取組を維持する	今後目標達成のため、「運動身体づくりプログラム」を授業の中に積極的に取り入れ、学校行事等の充実を図ったりするなど運動の機会を確保し、体力、運動能力の向上に向けた取組を行う。また、各小中学校の状況に応じて徒歩による登下校を奨励していく。
	中2 45.4%	中2 29.3%	中2 46.8%	中2 38.1%	未達成	上昇等	81.4%	130.0%	中2 48.2%	中2 41.7%	未達成	上昇等	86.5%	109.4%	中2 49.6%	中2 51.0%	学校 教育課	目標値は下回ったが、年々実績値が上昇している。総合評価では、男女とも全国、県の平均よりやや低い値となっている。A評価が少なく、E評価も少なく、中間層が多い状態である。男女とも柔軟性の項目が低いので、柔軟性を高める活動を多く行っていく。			
「南相馬市の自慢できるところ」や「好きなところ」について「ある」「少しある」と回答する児童生徒の割合	小5 59.6%	小5 59.6%	小5 64.0%	小5 65.3%	達成	上昇等	102.0%	109.6%	小5 68.0%	小5 72.5%	達成	上昇等	106.6%	111.0%	小5 73.0%	小5 75.0%	学校 教育課	道徳教育や「至誠（まごころ）学」の実施により、郷土の歴史や文化、自然に対する興味や理解が深まり、目標をクリアすることができた。	有効である	現状の取組を維持する	今後目標達成のため、学校教育活動全体を通して、「郷土愛」の指導に重点をおいた教育や「ふるさと至誠学」の充実を図る。また、生涯学習課の「地域学校学校協働活動事業」や「中学生職場体験等支援事業」を通した連携を図り、地域やそこで働く人々のよさについて体験的に学ぶ機会を充実させる。
	中2 50.0%	中2 50%	中2 54.0%	中2 57.6%	達成	上昇等	106.7%	115.2%	中2 58.0%	中2 57.8%	未達成	上昇等	99.7%	100.3%	中2 63.0%	中2 65.0%	学校 教育課	道徳教育や「至誠（まごころ）学」、職場体験などの実施により、郷土の歴史や文化、地域で活躍する人々の思いや願いについての理解が深まり、目標に近づくことができた。			
相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができている児童生徒の割合	小5 83.8%	小5 83.8%	小5 85.3%	小5 89.1%	達成	上昇等	104.5%	106.3%	小5 86.8%	小5 91.3%	達成	上昇等	105.2%	102.5%	小5 88.3%	小5 90.0%	学校 教育課	目標値を達成できている。道徳教育を中心に各学校において心の教育に取り組んでいる結果が出ている。今後も様々な体験活動を行うことで、思いやりや親切、人権の尊重など心の育成を図っていく。	有効である	現状の取組を維持する	道徳科の授業を要として、学校教育全体で行う道徳教育の充実を図り、親切や思いやり、人権の尊重に関わる内容について、発達段階に応じて系統的に指導していく。また、外部指導者等による専門的な学習の機会を積極的に取り入れていく。
	中2 92.5%	中2 92.5%	中2 93.2%	中2 92.5%	未達成	下降等	99.2%	100.0%	中2 93.9%	中2 88.3%	未達成	下降等	94.0%	95.5%	中2 94.5%	中2 95.0%	学校 教育課	目標値は下回っているが、90%以上の高い水準を維持している。道徳教育を中心に各学校において心の教育に取り組んでいる結果が出ている。			
朝食を食べる児童生徒の割合	小 88.0%	小 85.0%	小 89.0%	小 84.1%	未達成	下降等	94.5%	98.9%	小 90.0%	小 86.0%	未達成	上昇等	95.6%	102.3%	小 91.0%	小 92.0%	学校 教育課	目標値は下回っているが、毎日朝食を食べる児童の割合が昨年度より増加している。学年が上がるにつれて摂取率が低くなっているため、家庭との連携も図りながら、食育を通して朝食をとることの重要性を高めていく。	有効である	現状の取組を維持する	今後目標達成のため、栄養教室等の食育を通し、望ましい食生活への取組を継続しながら計画を推進する。また、「早寝・早起き・朝ごはん」など家庭教育の大切さについて、学校からの発信はもちろん、生涯学習課の「家庭教育講座」などを通して、保護者への理解と協力を図る。
	中 80.0%	中 80.0%	中 81.0%	中 77.2%	未達成	下降等	95.3%	96.5%	中 82.0%	中 79.4%	未達成	上昇等	96.8%	102.8%	中 83.0%	中 84.0%	学校 教育課	目標値は下回っているが、毎日朝食を食べる生徒が昨年度より増加している。朝食を食べる習慣は心の健康と関係しているという研究結果から、不登校や生活習慣の乱れを改善するために、食育の充実を図っていく。			

令和6年度の施策全体の評価

郷土愛については、道徳や総合的な学習の時間等を活用し、「至誠（まごころ）学」を推進したことにより、南相馬市についての理解が深まり、南相馬市の良さを実感する児童生徒が増えている。

他人を思いやることの大切さについては、道徳教育を中心に一人ひとりの個性や価値観を認め、尊重し合えるように取組を行っているが、引き続き、人権を尊重する力を育む必要がある。

保健指導や食育などを通して望ましい生活習慣や食生活への理解を図るとともに、保護者への協力を呼びかける必要がある。また、運動機会の確保を図り、体力・運動能力の向上が必要である。

令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

「心」の育成については、総合的な学習の時間を中心に郷土についての探究的・体験的な学習を推進し、「ふるさと至誠学」の充実を図る。その際、全ての小中学校において、「野馬追」「報徳仕法」「震災・復興」について学び、学んだことを発表する機会をととして、南相馬市の歴史や文化、復興や産業などを理解する機会とし、郷土愛の育成につなげる。また、道徳科の授業を通して、親切や思いやり、人権の尊重など、発達段階に応じて系統的に指導していく。

「体」の育成については、健康的な体づくりや食習慣に関する指導・助言を行うなど、発達段階に応じた指導を行うとともに、生涯学習課などと連携し、家庭教育の充実を図る。

●分野 1 学校教育 施策 1 豊かな心と体の育成（総計：施策①）

取組方針別 事業一覧（9 事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組 方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
1－1 郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠（まごころ）学」を推進します。				
1	道徳教育強化推進事業	学校教育課	達成	A
2	報徳精神がいきづくまちづくり事業【再掲】	生涯学習課	達成	A
1－2 様々な側面から生命の尊さについての考えを深め道徳教育を推進します。				
3	道徳教育強化推進事業【再掲】	学校教育課	達成	A
1－3 運動の習慣化や正しい食生活を身に付け、健康な体を育む教育の推進を図ります。				
4	小学校部活動支援事業	学校教育課	未達成	A
5	中学校部活動支援事業	学校教育課	達成	A
6	中学校部活動外部講師活用事業補助金	学校教育課	未達成	A
7	小学校音楽・スポーツ大会等補助金	学校教育課	達成	A
8	中学校音楽・スポーツ大会等補助金	学校教育課	達成	A
9	部活動指導員配置事業	学校教育課	未達成	B

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

●分野1 学校教育 施策2 教育水準の向上（総計：施策②）

重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
学習の意欲が高い 児童生徒の割合	小5 43.0%	小5 43.0%	小5 47.0%	小5 41.0%	未達成	下降等	87.2%	95.3%	小5 51.0%	小5 35%	未達成	下降等	68.6%	85.4%	小5 56.0%	小5 60.0%	学校 教育課	昨年度の実績値を下回り、目標値にも達していない。学習意欲の向上が図られるよう、「解いてみたい・やってみたい」と思えるような課題の提示や「わかる・できる」授業への改善を図る。	有効である	現状の取組 を維持する	「授業改善プラン」や「南相馬の授業スタイル」について、研修の充実を図り、各学校、全ての教職員へ周知しながら、児童生徒の学習意欲を高められるような授業、学校環境改善に今後も取り組んでいく。
	中2 51.0%	中2 51.0%	中2 53.0%	中2 53.0%	達成	上昇等	100.0%	103.9%	中2 55.0%	中2 52%	未達成	下降等	94.5%	98.1%	中2 58.0%	中2 60.0%	学校 教育課	目標値を下回っているため、今後も学習意欲の向上が図られるよう「解いてみたい・やってみたい」と思えるような課題の提示や「わかる・できる」授業への改善を図る。			
標準学力調査における平均正答率	小5 69.0%	小5 68.0%	小5 69.7%	小5 66.3%	未達成	下降等	95.1%	97.5%	小5 70.5%	小5 66.9%	未達成	上昇等	94.9%	100.9%	小5 71.3%	小5 72.0%	学校 教育課	正答率は上がっているが、目標値には届いていない。「全国学力・学習状況調査」同様、分析を行い、今後の授業改善等に生かせるようにしていく。	有効である	現状の取組 を維持する	本調査は、客観的で標準化された調査であり、児童生徒の学力を知る上で大切な資料になるため継続して取り組んでいく。教育委員会、各学校で、しっかり分析することで各教科の授業の質的向上、指導改善に生かしていく。
	中2 62.2%	中2 58.1%	中2 62.6%	中2 57.1%	未達成	下降等	91.2%	98.3%	中2 63.1%	中2 59%	未達成	上昇等	93.5%	103.3%	中2 63.6%	中2 64.0%	学校 教育課	正答率は上がっているが、目標値には届いていない。「全国学力・学習状況調査」同様、分析を行い、今後の授業改善等に生かせるようにしていく。			

令和6年度の施策全体の評価

学習の意欲については、小・中学校共に目標値を下回った。小学5年生は「好きになれない教科がある」、中学2年生は「授業がよくわからない」ことなどが原因で、自分のペースで学習を進められない児童生徒が多いため、学習意欲が高まらないと思われる。

標準学力調査の平均正答率については、小学5年生、中学2年生共に昨年度よりも若干上昇しているが、目標値を達成することができなかった。「南相馬市の授業スタイル」による授業改善を継続し、教職員の指導力の向上を図るとともに、基礎・基本の定着と学んだことを活用する力の向上を図っていくことが必要である。

令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

標準学力調査等の分析を踏まえ、教員の指導力向上、家庭等での学習の充実など、児童生徒の学習意欲を高める取組を進める。

また、アンケートにおいて児童生徒が授業に対して何が楽しく何が分からないのかなど、分析を行い、授業の改善につなげていきたい。アンケートの内容や形態については精査しながら、市全体として授業力の向上を行う。

さらに、学力調査については、「全国学力学習状況調査」「ふくしま学力調査」「市学力調査」があるので、それぞれの調査結果から、各教科の実態、成果や課題を明確にし、市全体で共有し指導改善に生かす。また、それぞれの調査結果を各校で分析し、自校の課題を明確にした上で個に応じた指導について創意工夫を図っていく。

なお、国際バカロレアの研究開発校で行う試行授業を通して、双方向・協働型の探究型学習を学習意欲の向上につなげる方法の研究を行う。

●分野1 学校教育 施策2 教育水準の向上（総計：施策②）

取組方針別 事業一覧①（19事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
2－1 基礎学力の定着と活用力の向上を推進します。				
10	基礎学力向上対策事業	学校教育課	未達成	B
11	小中学校教育研究事業補助金	学校教育課	達成	A
12	部活動指導員配置事業【再掲】	学校教育課	未達成	B
13	学力向上教員配置事業	学校教育課	未達成	B
14	学習ドリルアプリ活用事業補助金	学校教育課	達成	B
15	学習塾等と連携した学力強化推進事業	学校教育課	達成	B
2－2 学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。				
16	学校教育支援センター事業	学校教育課	達成	B
17	高等教育機関連携事業	学校教育課	未達成	B
18	ICT教育推進事業	学校教育課	未達成	B
19	地域の特性等を生かした創意工夫による教育活動推進事業補助金	学校教育課	未達成	A
20	中学生海外研修事業	学校教育課	未達成	B
21	外国語教育推進事業	学校教育課	達成	B
22	外国語指導助手配置事業	学校教育課	達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

●分野 1 学校教育 施策 2 教育水準の向上（総計：施策②）

取組方針別 事業一覧②（19事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
2－2 学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。				
23	プログラミング教育推進事業	学校教育課	未達成	B
24	公立学校適正化推進事業	教育総務課	未達成	A
25	国際バカロレア教育研究事業	学校教育課	未達成	C
2－3 こどもの読書活動と調べ学習を推進します。				
26	学校司書活用事業	学校教育課	達成	B
27	学校図書館支援事業	中央図書館	達成	A
2－4 進学を推進するための支援に取り組みます。				
28	みらい育成修学資金事業	教育総務課	未達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

●分野1 学校教育 施策3 教育環境の整備（総計：施策③）

重要業績評価指標（K P I）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合（小5、中2）	小5 93.0%	小5 93.0%	小5 94.0%	小5 95%	達成	上昇等	101.1%	102.2%	小5 94.0%	小5 91%	未達成	下降等	96.8%	95.8%	小5 94.0%	小5 95.0%	学校教育課	小学校に関しては、目標値を下回っているが、高い水準のままである。子どもたちにとって、学校が楽しい場所であり続けるために今後も教育環境の確保に努めたい。	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のために、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、学習面や生活面において、子どもたち一人一人のニーズに応じた支援体制を工夫していく。
	中2 76.0%	中2 76.0%	中2 78.0%	中2 79%	達成	上昇等	101.3%	103.9%	中2 81.0%	中2 80%	未達成	上昇等	98.8%	101.3%	中2 83.0%	中2 85.0%	学校教育課	目標値は下回っているが、毎年度少しずつ割合は上昇している。引き続き今後も、中学生が安心して楽しく学校生活を送れるよう、教育環境の整備を継続していく。			
小中学校の施設・設備の整備について「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合	59.1%	59.1%	60.0%	59.0%	未達成	下降等	98.3%	99.8%	61.0%	71.4%	達成	上昇等	117.0%	121.0%	62.0%	63.0%	教育総務課	市内小中学校が昭和40年代から50年代にかけて建築されたものが多く学校施設の老朽化により、施設の不具合が生じる場合もあるものの、修繕等が必要になった場合には速やかに対応を行い、教育活動に影響が生じないように取り組んでいる。	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、各小中学校からの要望や現場確認を行い、教育環境の充実に向けた環境整備を行っていく。
学校給食における市産品の使用率	44.9%	44.9%	46.0%	47.2%	達成	上昇等	102.6%	105.1%	47.0%	48.8%	達成	上昇等	103.9%	103.5%	48.0%	50.0%	学校教育課	市産品については、契約農家や市場から収穫状況等についての情報を常に確認し、使用できる産品は積極的に使用していることが要因と捉えている。	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、市産品の情報収集等の取組を継続し、計画を推進する。

令和6年度の施策全体の評価

「学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合」について、割合は高いもののわずかに目標に達していない。しかし、それ以外の指標については目標を達成しており、教育環境の整備が進んでいるととらえることができる。

学校給食における市産品の活用については、年々上昇しており、工夫を凝らしたメニューなどにより充実した学校給食の提供と食育の充実の成果が表れている。

老朽化施設及び設備の改修については、随時各学校からの要望に対応しているため、目標値を上回ることができた。

令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

学校が楽しい場であり続けるために、児童生徒の安心できる居場所となる魅力的な学校運営、安全・安心な教育環境の整備を進めていく。

安全快適な学校生活を送ることができるよう、これまでどおり、施設設備の不具合等の修繕については、適宜迅速に対応を行っていく。

地域ぐるみで子どもを育む取組として実施している「地域学校協働活動事業」との一体的な推進による相乗効果を目指し、コミュニティ・スクールの導入に向けた取組を進める。

給食については、市産品の活用の可能性を探りながら地産地消の拡大を図ると共に、給食提供体制を整え、新鮮で安定した食材の確保を図り、安全・安心で美味しい学校給食の提供に努める。

●分野 1 学校教育 施策 3 教育環境の整備（総計：施策③）

取組方針別 事業一覧①（16事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
3－1 地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段の確保と、安全教育を推進します。				
29	スクールバス運行事業	学校教育課	未達成	B
30	臨時スクールバス等運行事業	学校教育課	達成	B
31	遠距離通学費補助金（小学校）	学校教育課	未達成	B
32	遠距離通学費補助金（中学校）	学校教育課	未達成	B
33	防災安全教育推進事業	学校教育課	達成	A
3－2 学校施設の安全で快適な環境整備・改善に取り組みます。				
34	小学校施設営繕事業	教育総務課	達成	A
35	中学校施設営繕事業	教育総務課	達成	A
36	原町第二中学校テニスコート整備事業	教育総務課	達成	A
37	小学校照明器具リース事業	教育総務課	達成	A
38	中学校照明器具リース事業	教育総務課	達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

●分野 1 学校教育 施策 3 教育環境の整備（総計：施策③）

取組方針別 事業一覧②（16事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
3－3 学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。				
39	開かれた学校づくり事業	学校教育課	達成	B
40	地域学校協働活動事業【再掲】	生涯学習課	未達成	A
3－4 安全・安心な学校給食の安定的な提供体制を整備します。				
41	学校給食検査体制整備事業	学校教育課	達成	B
42	学校給食費無償化事業補助金	学校教育課	達成	A
43	魅力ある学校給食の提供	学校教育課	達成	A
44	学校給食食物アレルギー対応補助金	学校教育課	未達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
不登校児童・生徒 の割合	小 0.84%	小 0.68%	小 0.83%	小 2.13%	未達成	下降等	39.0%	31.9%	小 0.82%	小 2.43%	未達成	下降等	33.7%	87.7%	小 0.81%	小 0.80%	学校 教育課	コロナ禍による生活環境や学校教育の環境が変化に十分な対応ができず、学校不適応を起こす児童の増加及び、児童や保護者の「無理せずに休もう」という考えや「学校登校」にこだわらないという考えが広がっているためと考えられる。	有効である	現状の取組を維持する	・チーム学校による多くの教職員による見守りや児童生徒の不調や悩みなどに対する早期発見ときめ細やかな対応 ・学習支援員・介助員の配置による一人一人に寄り添った学習支援 ・学校スクールカウンセラーの配置による専門家による相談体制の整備 ・学校教育支援センター（やすらぎ広場）の活用による一人一人の発達特性に応じた支援体制の強化と居場所づくり
	中 2.76%	中 3.49%	中 2.60%	中 5.55%	未達成	下降等	46.8%	62.9%	中 2.50%	中 7.23%	未達成	下降等	34.6%	76.8%	中 2.40%	中 2.30%	学校 教育課	コロナ禍による生活環境や学校教育の環境が変化に十分な対応ができず、学校不適応を起こす児童の増加及び、生徒や保護者の「無理せずに休もう」という考えや「学校登校」にこだわらないという考えが広がっているためと考えられる。			
学級生活に満足している児童生徒の割合	小5 73.8%	小5 73.8%	小5 75.3%	小5 67%	未達成	下降等	89.0%	90.8%	小5 76.9%	小5 71%	未達成	上昇等	92.3%	106.0%	小5 78.4%	小5 80.0%	学校 教育課	目標値に6%足りていない。学校に行くのは楽しい児童が91%だが、満足の度合いは低い。ただ、全国平均43%に比べると高い。データを各校において分析し、児童の支援に活用する。	有効である	現状の取組を維持する	・いじめを許さない学級・学校づくりの実現に向けた道徳教育の充実と保護者、地域住民、関係機関との連携 ・学習支援員、介助員等の配置による学習面や生活面における、子どもたち一人一人のニーズに応じた支援の充実 ・スクールカウンセラーの配置による児童生徒、保護者、教員等に対する相談体制の整備
	中2 52.0%	中2 52.0%	中2 55.3%	中2 59%	達成	上昇等	106.7%	113.5%	中2 58.5%	中2 62%	達成	上昇等	106.0%	105.1%	中2 61.8%	中2 65.0%	学校 教育課	目標値を約4%オーバーしている。今後も学級が居場所となるよう、学級生活の充実を図りながら、個に寄り添ったきめ細やかな支援を継続していく。			

令和6年度の施策全体の評価

不登校については、これまでも複数の教職員やカウンセラー等で児童生徒の様子を見守り、不安や悩みの相談に応じるなどの対応をしているが、生活環境や学校教育環境の変化に適応することができず、不登校になるケースや、学校への登校について保護者の考え方の変化により不登校になるケースがある。
学級生活に満足している児童生徒の割合については、全国平均と比較すると高い傾向にあるものの、小学5年生については、目標値を下回った。

令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

学習支援員や介助員などを活用し、児童生徒一人ひとりに寄り添いながら、それぞれの状況に応じた学習や生活の支援を図り、学校生活を楽しく過ごし、健やかに成長できる環境の整備に取組む。
また、いじめを許さない学級・学校づくりを基本方針に掲げ、いじめの早期発見、早期対応、早期解決につなげられるよう、児童生徒、保護者、各関係機関との連携を図りながら組織的に取組むようにする。
さらに、学校生活になじめず不登校傾向のある児童生徒に対しては、安心できる居場所や学びの場として、スペシャルサポートルームや教育支援センター、ICTの活用によるリモート授業なども選択肢として提案し、児童生徒の学びを保障することのできる体制を整える。

●分野 1 学校教育 施策 4 児童生徒の状況に応じた支援の充実（総計：施策④）

取組方針別 事業一覧（6事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
4－1 不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。				
45	いじめ問題対策事業	学校教育課	未達成	A
46	学校不適応対策事業	学校教育課	達成	A
4－2 震災と原発事故の影響による家庭環境等の問題を抱える児童生徒への心のケア等に積極的に対応します。				
47	スクールカウンセラー等派遣事業	学校教育課	達成	A
4－3 一人ひとりの状況に応じた就学・学習支援を推進します。				
48	介助員配置事業	学校教育課	達成	A
49	学習支援員配置事業	学校教育課	達成	A
50	就学指導アドバイザー配置事業	学校教育課	達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

●分野2 生涯学習 施策1 生涯学習の充実（総計：施策⑤）

重要業績評価指標（K P I）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
生涯学習関連事業 の延べ参加者数	8,093人	11,039人	12,000人	13,170人	達成	上昇等	109.8%	119.3%	12,100人	14,111人	達成	上昇等	116.6%	107.1%	12,200人	12,300人	生涯 学習課	令和6年度実績値のうち、出前講座の参加者が61%（8,572人）を占めている。令和5年度現状値との比較では941人増であり、コロナ禍を契機に、学びたいニーズを自ら選び、身近な環境で学習できる出前講座を利用する団体等が増えていることが要因である。	有効である	現状の取組を維持する	生涯学習センター講座等の参加者に大きな伸びが見られない（R3:4,840人→R6:5,539人）。特に、若い世代の参加率が少なく、より幅広い年齢層が興味・関心をひく学習メニューの提供や、ライフスタイルに合わせいつでも学べる生涯学習環境の整備などに取り組む。
YouTube「生涯 学習チャンネル」再 生回数	51,000回	53,805回	55,100回	55,900回	達成	上昇等	101.5%	103.9%	59,400回	68,700回	達成	上昇等	115.7%	122.9%	64,200回	69,200回	生涯 学習課	目標達成という状況を見れば、Youtube「生涯学習チャンネル」は、市民に徐々に浸透していると捉えているが、知らない市民が多いのが事実であり、また、再生回数に偏りが見られる。市民への学習機会のさらなる提供に向け、市民のチャンネル認知度の向上と、内容の充実に取り組む必要がある。	有効である	現状の取組を維持する	時間や場所の制限により、生涯学習センターでの対面講座に参加できないが、学びたいと考えている層のニーズに一定程度マッチしていると捉えている。今後も番組の周知・啓発を行いながら内容の充実に取り組むなど取組を推進する。
図書館の入館者数	166,369人	199,954人	188,000人	206,838人	達成	上昇等	110.0%	103.4%	201,000人	211,593人	達成	上昇等	105.3%	102.3%	215,000人	230,000人	中央 図書館	市民のニーズに応え図書館資料の充実を図ったこと、図書館の利用促進のための様々なイベントを行ったことなどが入館者の増加につながったものと捉えている。	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、新規の利用者増に向けた情報発信や利用促進イベントの開催等により来館者増に取り組む。
市民一人当たりの 図書の年間貸出冊 数	6.61冊	6.89冊	7.14冊	6.76冊	未達成	下降等	94.7%	98.1%	7.42冊	6.67冊	未達成	下降等	89.9%	98.7%	7.64冊	7.86冊	中央 図書館	令和6年度は故障した空調設備の更新工事を行い、工事期間中に館内の一部のエリアを安全性を考慮し立ち入り禁止としたことにより、一部の冊の本が貸出しできなかったことから中央図書館の貸出冊数は減少したものの、移動図書館については毎年増加傾向にある。また、図書の貸出しに必要な利用者カードの登録増加に向けて、未登録者に対して登録推進の取組みを進めており、令和6年度は930人の新規登録があった。	有効である	現状の取組を維持する	目標達成に向け、図書館の利用者増のための取り組みと併せて、市民のニーズに合わせた図書資料の一層の充実を図る。
博物館の利用者数	8,426人	9,338人	8,800人	12,329人	達成	上昇等	140.1%	132.0%	9,400人	11,904人	達成	下降等	126.6%	96.6%	10,000人	10,600人	文化財課	企画展のテーマとして、現在人気が高い縄文時代を取り上げたことや、“博物館における近代彫刻展”という新たな試みを行ったことにより、新たな層の観覧者数が増加したとともに、それらの企画展開関連講座の参加者数も多く、利用者数全体の底上げがなされた。また、博物館SNSアカウントの投稿を40件以上増加させたことも、利用者数増に貢献したと思われる。	有効である	現状の取組を維持する	KGI及びKPI達成のため、多様な世代ニーズに適した企画展の開催をはじめ、講座・体験活動の充実や各事業のSNS等を活用した周知促進に取り組む。

令和6年度の施策全体の評価

KGIは達成し、KPIも5指標中4指標が達成していることから、事業は市民ニーズの把握に努めながら、概ね順調に実施された。
しかし、人生100年時代を迎えており、幅広い世代に対応した事業や、ライフスタイルに合わせて学べる生涯学習環境の整備が必要である。

令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方

生涯学習関連事業については、博物館・図書館を含め、多様な世代のニーズに対応していくことが課題となっている。講座等イベントの参加状況や利用状況を踏まえ、事業の見直しや新規事業の開催に取り組む。
また、より広く周知するために、SNS等情報発信のあり方についても改善を図るほか、生涯学習課、文化財課、図書館が連携し、各課・各館の効果的な事業運営を行い、市民の生涯学習機会の充実を図り、市民が集い、交流する場の機能を発揮していく。

●分野2 生涯学習 施策1 生涯学習の充実（総計：施策⑤）

取組方針別 事業一覧①（19事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
1－1 市民が生涯にわたって、学ぶことができる環境を整備し、生涯学習機会の充実を図るとともに、報徳精神の実践を推進します。				
51	生涯学習講演会開催事業補助金	生涯学習課	達成	A
52	高等学校開放講座事業	生涯学習課	未達成	A
53	生涯学習センター施設営繕事業	生涯学習課	達成	A
54	生涯学習講座事業	生涯学習課	未達成	A
55	生涯学習推進事業	生涯学習課	達成	A
56	中学生職場体験等支援事業	生涯学習課	達成	A
57	地域学校協働活動事業	生涯学習課	未達成	A
58	こども探検隊事業	生涯学習課	達成	A
59	家庭教育支援総合推進事業	生涯学習課	未達成	A
60	報徳精神がいきづくまちづくり事業	生涯学習課	達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

●分野2 生涯学習 施策1 生涯学習の充実（総計：施策⑤）

取組方針別 事業一覧②（19事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
1－2 多様な世代ニーズに対応した博物館の企画・展示、体験学習の充実と積極的な情報発信を図ります。				
61	博物館企画展示事業	文化財課	達成	B
62	博物館学芸調査事業	文化財課	達成	B
63	博物館体験学習・講座開催事業	文化財課	達成	A
64	博物館管理運営事業	文化財課	未達成	B
1－3 読書活動の推進と多様な分類・分野の図書館資料の整備・充実を図ります。				
65	図書館ブックスタート事業	中央図書館	未達成	A
66	図書整備事業	中央図書館	達成	A
67	移動図書館管理運営事業	中央図書館	達成	A
68	図書館利用促進事業	中央図書館	達成	A
69	わたりむつこ・子ども読書活動支援事業	中央図書館	未達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

重要業績評価指標（K P I）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 目標値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
芸術イベントの 開催件数	39件	43件	45件	50件	達成	上昇等	111.1%	116.3%	49件	51件	達成	上昇等	104.1%	102.0%	53件	57件	生涯 学習課	新型コロナが5類に移行したことにより、活動を制限していた団体等がイベントを再開した結果、開催件数が増加したため。	有効である	現状の取組を維持する	令和3年度と比較し、市芸術文化協会の加盟団体数・会員数とも減少し、また、高齢化している（加盟団体数：R3・65→R7・47 会員数：R3・988→R7・841）。芸術文化の充実に向け、各種団体や個人の活動支援に取り組み、芸術に勤しむ市民の増加に努める。

令和6年度の施策全体の評価	令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
<p>新型コロナ禍での活動制限が終了し、芸術文化団体等が各種活動を再開し、市総合美術展覧会も通常開催となり、市民が芸術文化に触れる機会が少しずつ増え、創作意欲の向上につながっている。また4年目を迎えた文化芸術ふれあい事業「AIR」では、小高区のイベントに合わせて事業のPRと市民とのふれ合い企画を行うなど、「身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりと、創作する機会の創出」に取り組んだ。</p> <p>しかし、南相馬市芸術文化協会については、これまで活動を休止していた小高支部が活動を再開するなど、明るい動きはあったものの、加盟団体数・会員数の減少と、会員の高齢化は改善しておらず、K P I は達成したものの、芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化に結びついていないという状況である。</p>	<p>市総合美術展覧会と文化芸術ふれあい事業を柱とした文化芸術等イベントの開催と、市の補助支援制度の周知・活用による各種団体や個人の活動支援に取り組む。</p> <p>こうした取り組みを進め、芸術文化に興味を持ち、実際に勤しむ市民の増加を図り、芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化につなげていく。</p> <p>また、地域の芸術文化の振興と地域に根ざした芸術文化の拠点づくりのため、ゆめはつとの良好な管理運営を行っていく。</p>

●分野2 生涯学習 施策2 芸術文化の充実（総計：施策⑥）

取組方針別 事業一覧（6事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
2－1 身近に芸術文化に触れることができる環境づくりと、創作する機会の創出を推進します。				
70	市民文化会館管理運営事業	生涯学習課	達成	A
71	文化芸術ふれあい事業	生涯学習課	達成	A
72	市総合美術展覧会事業	生涯学習課	達成	A
73	学校等市民文化会館利用支援補助金	生涯学習課	未達成	A
2－2 芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化の取組を支援するとともに、芸術文化活動の充実を図ります。				
74	芸術文化協会等事業補助金	生涯学習課	未達成	A
75	地域文化振興助成事業補助金	生涯学習課	未達成	A

（事業の方向性）

A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了

重要業績評価指標（KPI）の達成状況及び自己評価結果

指標名	令和4年度 現状値	令和4年度 実績値	令和5年度 現状値	令和5年度 実績値	令和5年度 達成状況	達成率	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成状況	前年度比 上昇・下降	達成率	前年度比率	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	担当課	KPI達成状況の要因	KPI達成状況の 評価	R8年度に向けた 施策の対応方針	R8年度に向けた施策の 対応方針の具体案
文化財保護と活用 に「満足」「やや満 足」と回答する一般 市民の割合			35.4%	35.4%	達成	100.0%	36.2%	42.2%	達成	上昇等	116.6%	119.2%	36.6%	37.0%	文化財課	浦尻貝塚縄文の丘公園が全面供用になったこと や文化遺産サポーターの活動が活発になりつつあり、 市民において文化遺産に触れる機会が多くなったこと により、好意的回答が増加したと考えられる。	有効である	現状の取組 を維持する	泉官衙遺跡の復元建物完成を踏まえた周知広報活動の促進。文化遺産サポーターの活動の場の拡大。
民俗芸能発表会の 観覧者数			61人	136人	達成	223.0%	200人	318人	達成	上昇等	159.0%	233.8%	300人	400人	文化財課	観覧者数は、コロナ感染症の影響により著しく減少したが、 コロナ感染症の収束に伴い、観覧する動機が回復したことにより、増加したと考えられる。	有効である	現状の取組 を維持する	民俗芸能団体の活動再開に向けた支援。原町区、鹿島区を中心とした相馬流山踊の保存団体の育成。

令和6年度の施策全体の評価	令和8年度の施策の取組方針・主な取組例の考え方
<p>【施策1】</p> <p>浦尻貝塚縄文の丘公園を中心に、史跡公園整備事業の着実な進捗と運営が開始された。特に整備事業にあわせて、文化遺産サポーターの活動が活発になってきており、市民が文化遺産にかかわる機会が創出されてきている。</p> <p>【施策2】</p> <p>民俗芸能発表会の観覧者数は増加したが、民俗芸能団体の活動休止が多くなっており、出演団体の固定化が認められる。より、多様な民俗芸能が披露されるよう民俗芸能団体の活動再開にむけた事業展開が求められる。</p>	<p>【施策1】</p> <p>泉官衙遺跡の復元建物整備完了に伴う周知広報を促進しつつ、浦尻貝塚、桜井古墳、大悲山石仏、博物館が連携した活用を図る。また、これらに伴う文化遺産サポーターの活動活性化を目指した運営を行う。</p> <p>【施策2】</p> <p>原町区、小高区の相馬流山踊の保存団体を育成する。また、民俗芸能（神楽など）の支援を行う。特に、指定文化財であり、休止をしている「小池の獅子舞」「村上の田植踊」の活動再開を目指した支援を行う。</p>

●分野3 文化 施策1 文化遺産の保存と活用／施策2 民俗芸能保存と伝承

取組方針別 事業一覧（9事業）

※事業ごとの事業内容、成果等の詳細は別紙「令和6年度実施計画事業一覧」を参照

取組方針	事業名	担当課	成果指標	事業の方向性
施策1 文化遺産の保存と活用				
1－1 文化遺産の適切な保存とともに、文化遺産と周辺環境が一体となった整備事業を計画的に推進し、新たな観光客の誘致や文化遺産に係る市民活動を推進します。				
76	大悲山石仏保存修理事業	文化財課	達成	B
77	浦尻貝塚史跡公園整備事業	文化財課	未達成	B
78	泉官衙遺跡史跡公園整備事業	文化財課	達成	A
79	市内遺跡発掘調査事業	文化財課	達成	A
80	文化財利活用推進事業	文化財課	達成	B
81	旧武山家住宅保存修理事業	文化財課	未達成	B
施策2 民俗芸能保存と伝承				
2－1 民俗芸能や相馬野馬追の継承と活動の活性化に向けた支援、新たな保存伝承の仕組みづくりに取り組みます。				
82	民俗芸能等保存伝承事業	文化財課	達成	A
83	民俗芸能保存伝承事業補助金	文化財課	達成	B
84	ふるさと民俗芸能伝承事業	生涯学習課	未達成	A

（事業の方向性）
A：現状のまま継続 B：改善しながら継続 C：事業規模拡大 D：事業規模縮小 E：事業廃止・完了